

## 付表2 「環境学における地球化学」についてのアンケート

該当部分の番号に をつけるか、( )に御意見をお書きください

(1) このアンケートでは地球化学会の会員でない方のお考えをお聞かせ頂くことを希望しておりますが、あなたの御専門分野は、下の区分ではどこに当てはまりますか？

1 人文学 2 社会科学 3 数学・天文学・物理学 4 地球科学 5 化学 6 生物学 7 工学 8 農学  
9 医歯薬学 10 情報学 11 “環境学” 12 その他( )

(2) “環境学”をどのようにお考えでしょうか？(複数お答え頂いてもけっこうです)

1 人間と自然環境/地球環境のかかわりを中心に研究・体系化・教育する  
2 人間と都市人為環境のかかわりあいを中心に研究・体系化・教育する  
3 人間と社会環境のかかわりあいを中心に研究・体系化・教育する  
4 人間の自然環境 都市人為環境 社会環境の中での関わりを中心に研究・体系化・教育する  
5 その他( )  
6 いまだ明確な位置付けを持っていない。今後の学問の展開とともに確立すべきもの。

(3) 貴機関で“環境学”を御研究あるいは教育をされていらっしゃるでしょうか？

その分野は旧来の学問分野でいえばどこに軸足を置いたものでしょうか？

(3-1) 研究者が、 1 いる( 人くらい) 2 いない

1の「いる」場合その研究分野と概略人数は、

1 人文学( ) 2 社会科学( ) 3 数学・天文学・物理学( ) 4 地球科学( ) 5 化学( ) 6 生物学( )  
7 工学( ) 8 農学( ) 9 医歯薬学( ) 10 情報学( ) 11 “環境学”( ) 12 その他( )

(3-2) “環境学”をテーマにした講義が開かれていますでしょうか？

1 開かれています 2 開かれていない

1の「開かれています」場合、その分野と概略コマ数は、

1 文科系( ) 2 文科系寄り( ) 3 理科系( ) 4 理科系寄り( )

(4) 同封しました参考資料などを御覧いただき、皆様方がお感じになった“地球化学”の印象はいかがでしょう？

( )中の該当する部分に を付けてください。

(4-1) 水や岩石などの“分析”が中心になっている。( 1 そう感じる、 2 そうは見えない、 3 どちらでもない)

(4-2) 大気や水・海洋の研究が多い。( 1 そう感じる、 2 そうは見えない、 3 どちらでもない)

(4-3) 岩石や鉱物を通じた地球内部の研究が多い。( 1 そう感じる、 2 そうは見えない、 3 どちらでもない)

(4-4) 資源探査や災害の軽減など実生活に関連した研究が多いと見えますか、それとも宇宙や地球深部の研究など  
ロマンをかき立てる研究が多いと見えますか？

( 1 人間生活に関連、 2 ロマンを追う、 3 両方ある、 4 どちらもない)

(4-5) 皆様方がお考えの(上記(2)でお答えいただいた)“環境学”に含まれそうな研究はどれほどなされていますでしょうか？ ( 1 たくさん研究されている、 2 いくつか該当する、 3 全くない)

(5) 貴機関に「地球化学」を御研究あるいは教育されている方がいらっしゃいますか？

( 1 いる(約 人くらい) 2 いない )

「いる」とお答えいただいた方へ

(5-1) 貴機関の環境教育において地球化学はどのように位置づけられていますか？

- 1 環境教育の中心部分を担っている
- 2 別にある中心的な環境教育の周辺を補完する教養的役割を担っている。
- 3 多くの羅列的な環境教育のひとつとして位置付けている。
- 4 その他 ( )

(5-2) 貴機関において不足する地球化学の分野があればそれはどのような内容でしょうか？

ないとお答えいただいても、複数お答えいただいてもけっこうです。

- 0 ない
- 1 同位体や元素分析を中心にした分野
- 2 生物や有機物関連分野
- 3 大気や水に関連した分野
- 4 岩石やマントル物質を扱う分野
- 5 隕石など宇宙物質を扱う分野
- 6 人為活動を調べる社会地球化学
- 7 計算機によるシミュレーション地球化学
- 8 その他 ( )

(5-3) 地球化学と地球化学以外の環境学分野との連携（教育／研究）について、

皆様方の理想はどのようなものでしょうか？

「いない」とお答えいただいた方へ、

(5-4) 定員と予算の余裕があれば取り入れたい地球化学の分野はどのような内容（研究上、あるいはカリキュラム上）でしょうか？ ないとお答えいただいても、複数お答えいただいてもけっこうです。

- 0 ない
- 1 同位体や元素分析を中心にした分野
- 2 生物や有機物関連分野
- 3 大気や水に関連した分野
- 4 岩石やマントル物質を扱う分野
- 5 隕石など宇宙物質を扱う分野
- 6 人為活動を調べる社会地球化学
- 7 計算機によるシミュレーション地球化学
- 8 その他 ( )

(6) 環境学の教育はどうあるべきか。どこに重点を置くべきか。大変難しいところですが、みなさま個人のお考えをお聞かせください。まず、( ) 中の重点の置き方の内、該当するものに を付けて下さい。

(6-1) 自然科学を含むから、物理／化学法則で説明がなされ得るよう体系化に努める。

(1 重要 2 やや重要 3 可能なら試みる 4 さほど必要でない 5 無駄な事だ)

(6-2) 人間が中心だから、人文学（哲学や史学など）に沿って体系化に努める。

(1 重要 2 やや重要 3 可能なら試みる 4 さほど必要でない 5 無駄な事だ)

(6-3) 人間活動の結果としての環境問題だから、社会科学（法学、経済学、政治学など）

の原理を規範として体系化に努める。

(1 重要 2 やや重要 3 可能なら試みる 4 さほど必要でない 5 無駄な事だ)

(6-4) “環境学”の確固とした原理や法則は無いが、広範な研究／教育の間に新しく見出すよう努める。

(1 重要 2 やや重要 3 可能なら試みる 4 さほど必要でない 5 無駄な事だ)

(6-5) これまで、各人が研究してきた基盤分野に立脚して、環境学を体系化する。

(1 重要 2 やや重要 3 可能なら試みる 4 さほど必要でない 5 無駄な事だ)

(6-6) 環境学の教育の在り方について皆様の御意見：

---